

半導体漫遊記

(330)

湯之上隆

検討している」。筆者もLuc CEOに質問した。その質疑応答は以下の通りである。

質問・ラピダスの技術者がimecに行っている2nmの技術開発に参加するのは理解できる。しかしimecの先端半導体の開発

「半導体では、PPAを、ファウンドリー側で設計し、製造し、パッケージングまでを一気通貫で引き受ける」、それをラピダスの拠

S、PPACit、超短TAT、IIMなど新造語を連発した。これらの概念は決して新しいものではないが、超一流のプレゼンターである小池社長は約500人の聴衆を魅了してしまつた。恐らくimecのLuc CEOも、小池社長のプレゼンを聴いて「これはすごい」と魅了されたことから全幅の信頼を寄せ、ラピダスを支援することにしたと思われる。

2023年11月9日(木)にホテルニューオータニで、imec Technology Forum (ITF) が開催された。まず11時~12時30分にプレス向けにimecの概要を説明し、その後Luc Van den hove CEOへ直接質問する時間が40分ほど設けられた。30人ほど参加していた各メディアの質問は、imecが技術協力することになっているラピダスに集中した。Luc CEOは次のようなことを述べた。

「ラピダスはimecの微細化コアプログラ

うことは、コンソーシアムの役割から逸脱しているのではないかと回答・imecは日本の装置&材料メーカーおよび大学など60の組織と提携している。

「ラピダスは、全ての装置の完全枚葉化を行い、RUMS (Raised & Unified Manufacturing Structure) と呼ぶ新しいファウンドリーサービスを提供する」

「ラピダスは、全ての装置の完全枚葉化を行い、RUMS (Raised & Unified Manufacturing Structure) と呼ぶ新しいファウンドリーサービスを提供する」

質疑に応じるimecのLuc Van den hove CEO (2023年11月9日のimecフォーラムの記者会見で筆者撮影)

なぜラピダスに協力か

imec「日本半導体を活性化」

ズな導入に向けた技術支援なども行っている。imecは日本

が特定の国(つまり日本)の、特定の企業(つまりラピダス)のために、R&Dセンターを

に参画しているラピダスの取り組みは非常に挑戦的なものであることから、imecはラピダスを支援する。imecは日本半導体産業を活性化させたいと考えている。

次の通りである。「ラピダスは、全ての装置の完全枚葉化を行い、RUMS (Raised & Unified Manufacturing Structure) と呼ぶ新しいファウンドリーサービスを提供する」

「ラピダスは、全ての装置の完全枚葉化を行い、RUMS (Raised & Unified Manufacturing Structure) と呼ぶ新しいファウンドリーサービスを提供する」

「ラピダスは、全ての装置の完全枚葉化を行い、RUMS (Raised & Unified Manufacturing Structure) と呼ぶ新しいファウンドリーサービスを提供する」

「ラピダスは、全ての装置の完全枚葉化を行い、RUMS (Raised & Unified Manufacturing Structure) と呼ぶ新しいファウンドリーサービスを提供する」



「ラピダスはimecの微細化コアプログラ

「ラピダスはimecの微細化コアプログラ

「ラピダスはimecの微細化コアプログラ

「ラピダスはimecの微細化コアプログラ

「ラピダスはimecの微細化コアプログラ

「ラピダスはimecの微細化コアプログラ

「ラピダスはimecの微細化コアプログラ